

平成30年4月 松中小学校に 市立小学校では7校目の知的障害特別支援学級 まつのみ学級を開設します

立川市では現在、20校の小学校のうち6校に、知的障害特別支援学級を設置しています。中でも、最も通学区域の広い第九小学校「くわのみ学級」は児童数が年々増加しており、教室の過密状態や、登下校の負担感などが課題になっていました。

そこで、平成30年4月より通学区域を分割し、新たに松中小学校に特別支援学級「まつのみ学級」を開設いたします。校内や地域をはじめ、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

 一人ひとりの教育的ニーズに合わせた、
少人数での指導・支援を行います。

特別支援学級では、子どもたちが安心して学習に集中できる教室環境を整えるとともに、一人ひとりの障害の特性や教育的ニーズに合わせた指導・支援を行います。見学や体験をご希望の方、通常の学級から特別支援学級への転学を検討されている方は、教育支援課までお気軽にお問い合わせください。



校長先生からのメッセージ

立川市立松中小学校
校長 福原 憲生

間もなく開校50周年を迎える本校に、特別支援学級「まつのみ学級」がいよいよ来春、開設されます。松中小学校の特別支援学級であることと、第九小学校「くわのみ学級」の学区再編にともなって新設されることから、「まつのみ学級」と名付けました。

「まつのみ学級」は、「一人ひとりの課題に応じた教育と豊かな地域活動を通して、社会参加と自立の基礎を学ぶ学級」という立川市教育委員会の方針の下、開設の準備を進めています。特に本校では、交流及び共同学習に重点を置いた教育活動を全校で実施して、誰もが地域で活躍し貢献できる将来の人材を育てることを目指します。

本校のキャッチフレーズは、「学ぶ楽しさ味わって、みんな笑顔の松中小」です。通常の学級の児童も「まつのみ学級」の児童も互いに学び合い、互いを高められる教育活動を展開しようと計画をしています。

☎教育支援課 ☎(527)6171

〒190-0022立川市錦町3-2-26子ども未来センター 1階 / 受付時間：月曜～金曜日(祝日を除く)午前9時～午後5時

たっちの発行は年3回です。次号の発行は平成30年2月10日です。

中学生の職場体験協力事業所募集

立川市立中学校では、全校で5日間の職場体験を進めています。これまでも多くの事業所にご協力をいただき事業を進めてきましたが、生徒を受け入れてくださる事業所が不足しています。中学生の職場体験はキャリア教育として大変意義のある事業と捉え、立川市教育委員会は受入事業所の拡大に努めてきました。

中学生の職場体験に「協力できる」、「興味がある」という事業所がございましたら教育委員会へご連絡ください。事業概要等についてご説明させていただきます。



職場体験の目的と概要

目的

- 仕事を体験することにより、“望ましい勤労観や職業観”を身に付けさせる。
- 学校とは違う社会で学ぶことにより、“社会性やマナー”を身に付けさせる。
- 職場の方々やお客様、利用者等、多くの方々との関わりを通して“コミュニケーション力”を身に付けさせる。

概要

- 中学校2年生において5日間実施する。
 - 各校3～4名程度の生徒が、9時～15時を目安として体験する。
- ※日数、人数、時間等、ご都合に合わせていただける場合がございます。お気軽にお問い合わせください。

☎指導課・内線2134



立川市キャラクター
くるりん

姉妹都市中学生交流事業

立川市・大町市姉妹都市 中学生サミット



大町市キャラクター
おおまびよん

平成29年7月22日(土)から23日(日)まで、立川市の姉妹都市である長野県大町市で、「平成29年度立川市・大町市姉妹都市中学生サミット」が開催され、立川市立中学校の全9校から計20名の代表生徒が参加しました。

このサミットは、平成27年度に開催した第1回サミットで生徒たちが作り上げた「共同宣言」に基づき、両市の交流を深め、その交流の成果を各中学校から地域・市民へ発信していくこと、都市と農村の共存について考えること等を目的として実施しています。

平成29年度は「北アルプス国際芸術祭」開催でにぎわう大町市内の班別見学、大町市の良さを発見する意見交流会、さらに大町市教育委員会荒井教育長の講演等により交流を深め、郷土やまちを愛し、多角的視野を身に付けた立川市民・大町市民のリーダーの育成を図りました。



☎指導課・内線2134